

ス 潟

# 食事制限の人向け備蓄食 都から3万食受注

エコ・ライ  
新

## 自治体、施設で採用進む

エコ・ライス新潟（長岡市）は、腎機能が弱く

食事制限中の人らに向けた低タンパク米の備蓄食「はんぶん米」3万食を東京都から受注した。年度内に納品する。都からの大口受注は3年連続で、都の備蓄量は計9万食になる。災害時に有効だとして全国の自治体に

売り込みを図る。

はんぶん米は低タンパク米「春陽」を使用し、水か湯を加えるだけで食べられる。1食100g入りで399円。2007年に発売。災害時、交通網の寸断で特別な食品が届けられなかったり、医療機関が被災し人工透析の態勢が手薄になったり

した際に役立つという。

老人ホームや個人での備蓄需要もあり、販売量は年約8万食。本県が4千食を備蓄するのをはじめ、茨城県水戸市や群馬県高崎市なども備蓄食に採用。東京都は08、09年度も各3万食を備蓄した。このほかの自治体からも問い合わせがあるという。



東京都から3年連続で3万食を受注した「はんぶん米」

同社の豊永有マネージ

ャーは「中越地震、中越沖地震の経験を振り返っても、備蓄は量があればいいわけではなく、質が問題」と説明。「食事制限が必要な人も含め、だれでも食べられる備蓄の必要

性を理解してもらい、全国にはんぶん米の備蓄を広めたい」とした。